

空間と運営を一体的に捉えた取組み体制により、20年の事業期間を活かし『とっとりの未来をつくる』美術館の実現

- 県民が主役のアート活動拠点として、みんなで作る「とっとりアートプレイス」～みらいをつくる美術館を目指して～



- **アートとの多彩な出会いがある空間**
 - ≫ とっとりらしさに包まれた居心地の良い美術館
 - ≫ 立体回遊による多様な空間体験が創造性を喚起
 - ≫ 歴史性・地域性を創造的に継承した姿
- **共に・集まり・つくるを誘発する運営**
 - ≫ 県と民間の協働による鳥取発の運営モデル
 - ≫ 館内の様々な場所でアートに触れるしかけ
 - ≫ 地域の持続的成長につながる美術館活動の展開

● 各分野で実績豊富な企業と県内有力企業によるチームで、永く親しまれる美術館を“共につくる”



県民の想いをかたちにする県民・地域プラットフォームの構築



大御堂廃寺跡から見た美術館 人々の活動が主役となって美術館の姿を創り上げる

● 『とっとりの未来をつくる』美術館

- ≫ ひとつをつくり、育てる → ひとつをつなぐ 心地よさ・交流・未来への人材の育成
- ≫ まちをつくり、育てる → まちをつなぐ 倉吉のまちづくり・美術館連携の拠点
- ≫ 文化をつくり、育てる → 文化をつなぐ 自然、歴史、文化の継承と創造・発信



白壁土蔵群



打吹山長谷寺



大屋根とエントリープラザがぐらぐらに人々を迎える



創作テラスから『ひろま』へと活動がつながる

⇒大屋根の下に様々な体験が立体的に展開する『ひろま』

とっとりから世界へ



今からみらいへ



設計ワークショップ 建設中の市民見学会 創作ワークショップ 屋外パフォーマンス ポップカルチャー展 アートフェスティバル

「県内のあらゆる場所でアートが花開く、創造性と活力に満ちた鳥取県」



倉吉の自然・風土・景観と調和し、周囲の環境と一体となった美術館

居心地の良い『ひろま』を中心に展開する多様な体験

出会いと発見をもたらす豊かな回遊性

●多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



多様な視線の交錯によって生み出される創造性にあふれる『ひろま』の雰囲気

●諸室と連携して多様な活用が可能な『ひろま』 美術ラーニングセンターとして機能する

▶地域に根差したコミュニティと文化を創造・発信する拠点となります



観る 創る 学ぶ 遊ぶ



美術ラーニングセンターとしての機能

食べる 待つ 発信する

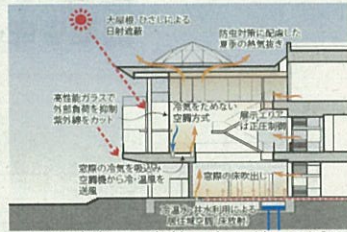
展示



パフォーマンス

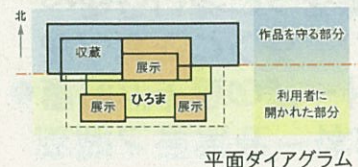
結婚式

●快適な心地の良い『ひろま』の実現

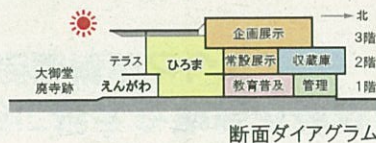


居住域空調と自然エネルギーの活用

●明快な平面、断面による機能性とわかりやすさ



平面ダイアグラム



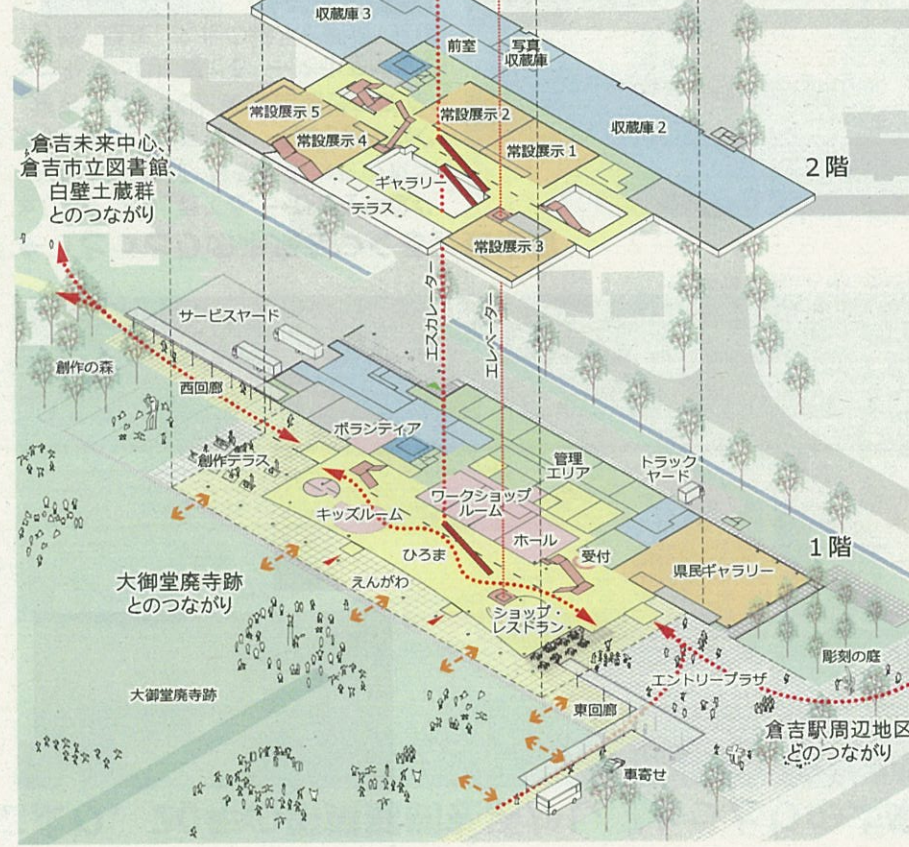
断面ダイアグラム



鳥取砂丘 風紋

倉吉絨

智頭杉



大御堂廃寺跡を一望できる展望テラス



魅力的な展示でにぎわう企画展示室



創作テラスとつながるキッズルーム

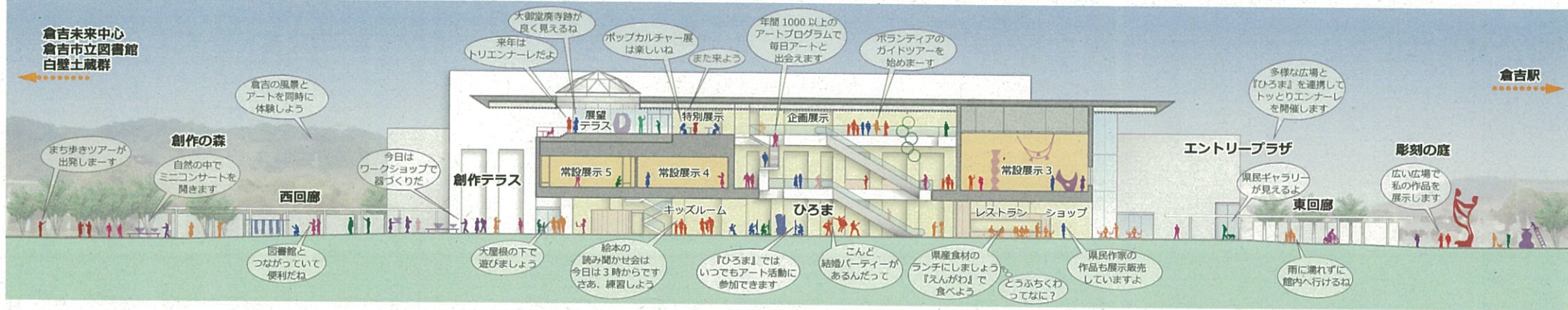


広く明るいエントランスロビー



大御堂廃寺跡と連携した催しのイメージ

“アートピアとっとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



● 毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館

- ▶ 1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- ▶ 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- ▶ 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所” “サードプレイス”としても利用できます



子どもたちとの創作ワークショップのイメージ



障がいのある方とアーティストのコラボレーションによる創作活動



キッズルームでの絵本の読み聞かせ会のイメージ

- ▶ 『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークメニューとして活用できます
- ▶ 様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



『ひろま』はパフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

● 「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- ▶ 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなで作る美術館を両立します
- ▶ 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催

- ▶ 鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
- ▶ 独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
- ▶ 美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



ポップカルチャー展と連動したイベントも開催します



運営企業の多彩なポップカルチャー展の実績

運営企業が運営するサイトを活用して広く発信

● 県民の“あったらいいな”でつくるアートな日常

- ▶ レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- ▶ 食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- ▶ ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- ▶ レストランでも様々なイベントを開催します



トークイベントなど市民が参加できるイベントも開催



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

● 県民が主役となる美術館を創ります

- ▶ 県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくります
- ▶ 3年に一度、トっとりエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを広げていき、たくさんの人々を呼び込みます



トっとりエンナーレでにぎわう美術館のイメージ “アートピアとっとり”の実現に向けて

